

第58回カーネギー・インターナショナルとヒロシマ
——土田ヒロミ〈ヒロシマ・コレクション〉参加事例から
小島ひろみ



図4 Installation view of the 58th Carnegie International featuring works by Thu Van Tran, Hiromi Tsuchida, and Banu Cennetoğlu, Courtesy of Carnegie Museum of Art; photo: Sean Eaton



図5 Installation view of Hiromi Tsuchida, *Hiroshima Collection* series, in the 58th Carnegie International, Courtesy of the artist and Carnegie Museum of Art; photo: Sean Eaton



图 6 Installation view of Thu Van Tran, *Colors of Grey* series, 2022, in the 58th Carnegie International, Courtesy of the artist and Carnegie Museum of Art; photo: Sean Eaton



图 21 Installation view of the 58th Carnegie International featuring works by Hiromi Tsuchida and Banu Cennetoğlu, Courtesy of Carnegie Museum of Art; photo: Sean Eaton



1976

私はその前の晩、母に服を作ってもらいました。そして八月六日の朝、私が学校へ着ていくために、母はボタンをつけていました。実際はもう学校の始まる時間で、とうに出かけているはずなのに、その日にかぎって、いつもさそってくれる友達が、先に行ってしまったのです。
 (『原爆の子』からの抜粋 / 執筆時中学校3年生)



2005

もう私、古希になります。乳癌の手術も受けています。しかし、この歳までライフワークとして好きな体操教室を続けてこられたのは、健康な身体と気力、そして愛しい家族、まわりの多くの方々のご協力のおかげです。私は、引退なんて考えたことはありません。被爆しながらも、かろうじて生き残った私たちの使命は、亡くなられた多くの方々の分も生き続けることだと考えています。(談)

山村(早志)百合子

被爆当時：小学校3年生 / 自宅の中 (1.5km) / 父・母・弟 (被爆)

図 10 土田ヒロミ<ヒロシマ 1945-1979/2005>《早志 百合子》1976年 / 2005年 © Hiromi Tsuchida

被爆当時：小学校 3 年生 / 自宅の中 (爆心地から 1.5km) / 父、母、弟 (被爆)

1976 年

私はその前の晩、母に服を作ってもらいました。そして 8 月 6 日の朝、私が学校へ着ていくために、母はボタンをつけていました。実際はもう学校の始まる時間で、とうに出かけているはずなのに、その日にかぎって、いつもさそってくれる友達が、先に行ってしまったのです。(抜粋・執筆時中学校 3 年)

2005 年

もう私、古希になります。乳癌の手術も受けています。しかし、この歳までライフワークとして好きな体操教室を続けてこられたのは、健康な身体と気力、そして愛しい家族、まわりの多くの方々のご協力のおかげです。私は、引退なんて考えたことはありません。被爆しながらも、かろうじて生き残った私たちの使命は、亡くなられた多くの方々の分も生き続けることだと考えています。(談)



1979



1993



2010



2019

図 18 土田ヒロミ<ヒロシマ・モニュメント>《ユーカリの木》広島城跡 基町 600m、1979年 / 1993年 / 2010年 / 2019年 © Hiromi Tsuchida



Dress

Donated on January 30, 1974, by Ritsa Ogawa (Setsuko Ogawa's mother), 570 x 820 mm
Setsuko Ogawa (21 at the time) was participating in morning physical exercises at Fifth Division Headquarters (790 meters from the hypocenter). She sought refuge at Shukheien Garden but the raging fire forced her to flee into a small river. Rescued by soldiers, she was taken to Ninoshima Island. She died on August 11. She wore this dress under a jacket and monpe bottoms (woman's work pants).

図 11 土田ヒロミくヒロシマ・コレクション《ワンピース》1982年/2022年 © Hiromi Tsuchida
寄贈：1974年1月30日 / 寄贈者：小川リツ（小川節子さんの母親）/570 × 820mm

小川節子さん（当時 21 歳）は第五師団司令部（爆心地から 790m）で朝の体操中に被爆。縮景園に逃げたが、火の勢いを避け京橋川に浸っているところを兵隊に助けられ、師団司令部に収容された。9 日、似島に転送されたが、11 日に死亡。この絹のワンピースは、上着とモンペの下に着けていたもの。